

SD115 デスクマウント金具 取扱説明書

-----24V 型以下の液晶テレビで、重量 9.1kg 以下に適用 -----

このたびは、SD115 の液晶テレビ用デスクトップマウント金具を、お買い上げいただきましてありがとうございます。
SD115 は、± 15° の上下方向の視野角調整と、更に ± 90° の首振り調整する事が出来ます。
ご使用前に、この「取扱説明書」をよくお読みの上、正しくご使用ください。
お読みになったあとは大切に保存してください。

お客様へ


本製品の取り付けには、確実な作業が必要となります。
ご自身で取付作業をされる場合は、この説明書に従って注意深く行って下さい。
取り付け不備や、取り扱い不備による事故や損傷については、当社では責任を負いません。
取り付け工事に不安のある場合は、販売店や工事店に依頼して、安全性に十分考慮して確実な取り付けを行って下さい。


販売店様・工事業者様へ

液晶テレビの取り付けには特別な技術が必要ですので、設置の際は取扱説明書をよくご覧の上、設置を行って下さい。
取り付け不備や、取り扱い不備による事故や損傷については、当社では責任を負いません。


1. 安全上のご注意


お使いになる人や他人への危害、物的な損害を未然に防ぐため、必ずお守り頂きたい事項を説明します。
表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や物的損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。


 **警告** 人が死亡又は重傷を負う恐れがある内容を示します。

 **注意** 人がけがをしたり財産に損害を受ける恐れがある内容を示します。


お守りいただきたい内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。


 人が死亡又は重傷を負う恐れがある内容を示します。


 人がけがをしたり財産に損害を受ける恐れがある内容を示します。

 人がけがをしたり財産に損害を受ける恐れがある内容を示します。

警告

 工事専門業者以外は取り付け工事を行わないで下さい。
専門業者以外が工事を行うと、工事の不備により落下してけがの原因になります。

 取り付け強度は、安全のため十分余裕を取って下さい。
強度が不足すると落下して死亡やけがの原因になります。

 荷重に耐えられない場所には取り付けしないで下さい。
強度の弱い机や、表面が平面でない場所に取り付けると転倒してけがの原因になります。
机の強度は少なくとも液晶テレビの重量の4倍の強度に耐える場所が必要です。

警告



禁止

SD115 液晶テレビデスクトップマウント金具は、24V 型以下で総重量 9.1kg 以下の液晶テレビを、机の上に固定するものです。

24V 型以上、9.1kg 以上の液晶テレビの取付には、絶対使用しないで下さい。
この指定を守らないと、液晶テレビが落下して、けがをしたりテレビが破損する原因となります。



禁止

湿気やほこりの多いところや、油煙や湯気の当たる場所や屋外には取り付けしないで下さい。
又、エアコンの上や下にテレビを取り付けしないで下さい。

テレビに悪影響をあたえたり、火災・感電の原因になります。



組み立ての手順を守り、指定の箇所はすべて確実にネジ止めして下さい。

ネジ山の破損したネジや、さびたネジは絶対使わないで下さい。

指定を守らないと、テレビの取り付け後に破損や落下等、思わぬ事故の原因となることがあります。



テレビの取り付けや取り外し作業は、2人以上で行って下さい。

テレビが落下して、けがをしたりテレビが破損する原因となることがあります。



禁止

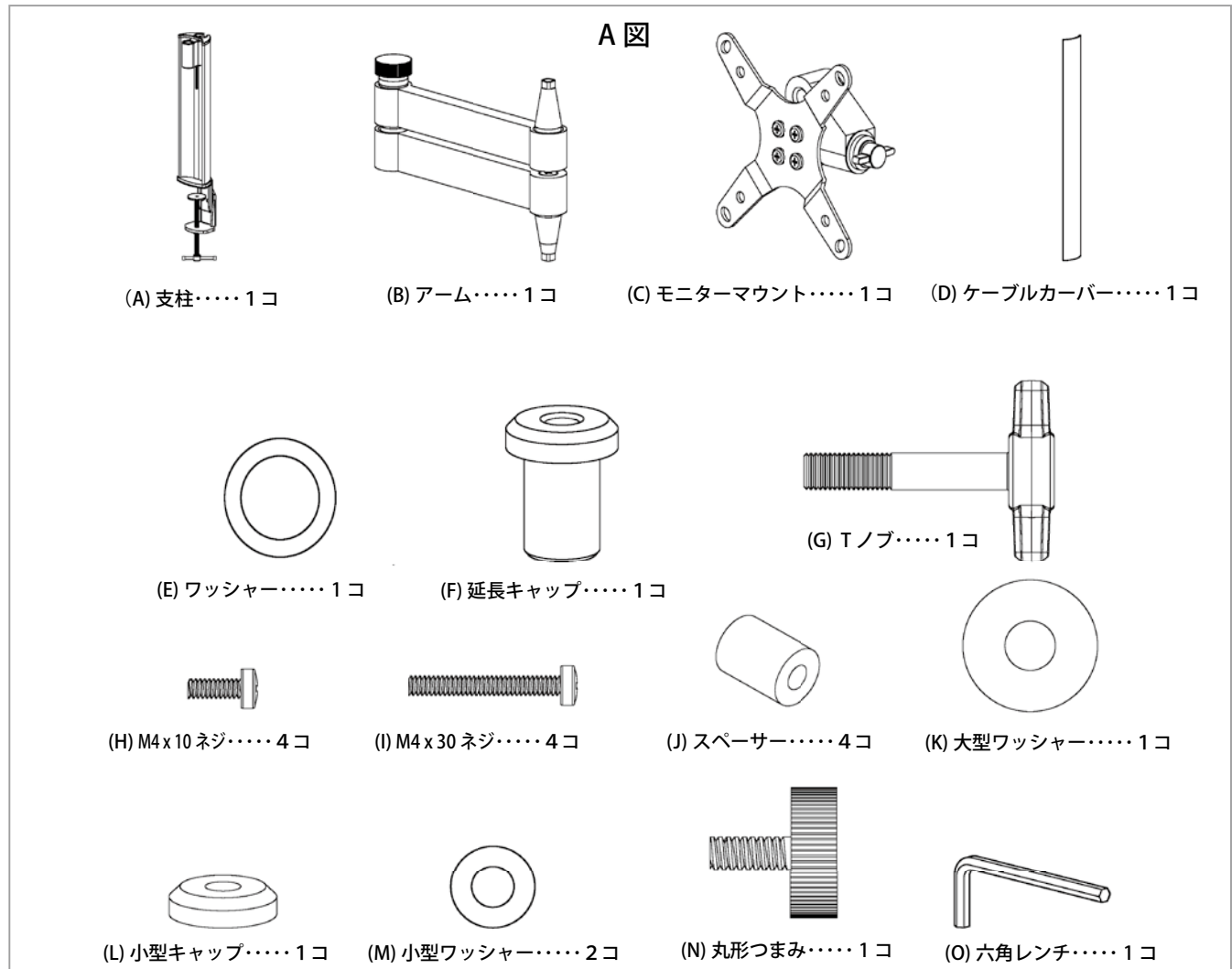
取り付け作業の際は、テレビや周辺機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて下さい。
感電の原因になったり、テレビや周辺機器を破損する恐れがあります。



取付金具を組み立てたり、取付に使用するネジは、下記の部品表に記載してありますが、不適合な場合がある時は、市販の適切なネジを使って下さい。

2. 部品一覧表

梱包を開梱し、組み立てる前に次のA図の部品名と現品の形を確認しておいて下さい。



3 組み立てかた

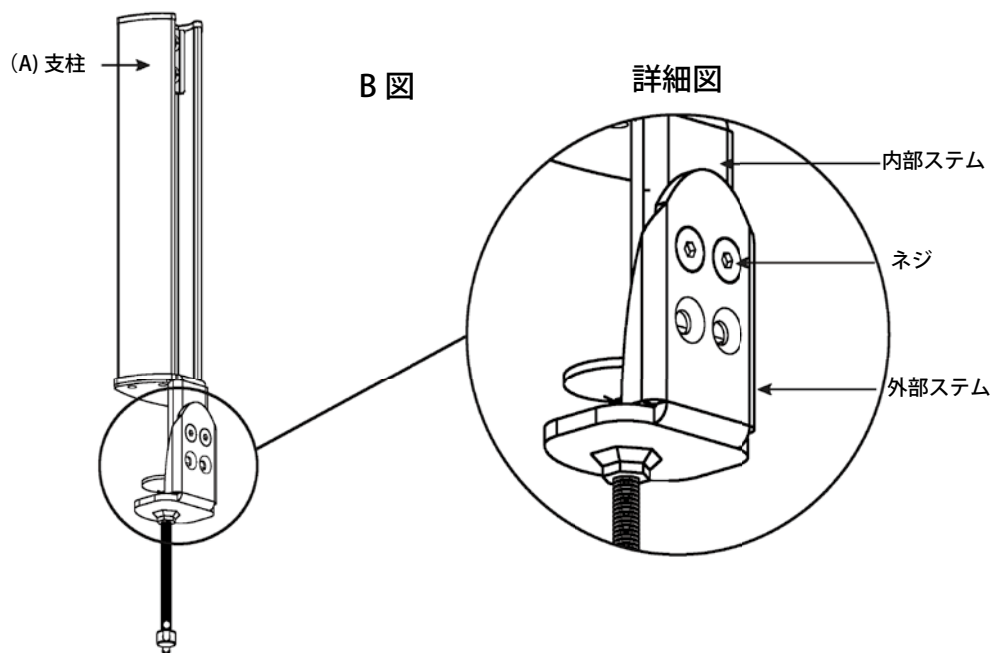
1 机天板の厚みに合わせて支柱クランプの高さ調整 (オプション工程)



注意 液晶テレビを取り付けた状態では、支柱の高さ調整はやらないで下さい。
取り扱い不備による事故や損傷については、当社では責任を負いません。

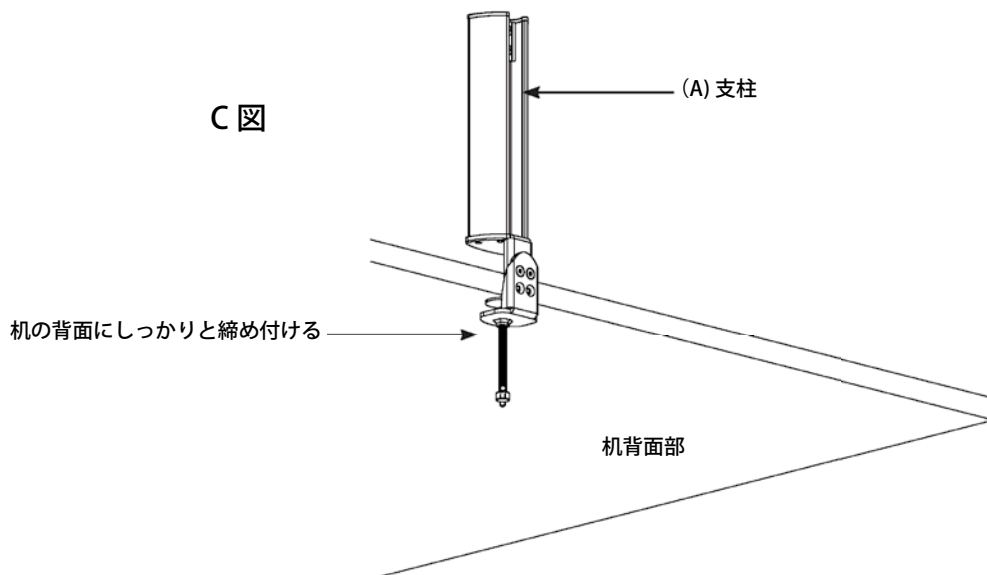
支柱が、何もせずにそのまま机の天板に取り付けられる場合は、この工程は飛ばして、次の2項に進んでください。

- (1) 机の天板の表面厚が厚い場合は、支柱クランプの高さ調整が必要な場合があります。
- (2) 先ずB図に示す、支柱(A)の2本のネジを、六角レンチ(G)で緩めて取り外します。
- (3) 次に、二つのステムをスライドさせて外部ステムの上方の穴を内部ステムの穴に合わせてます。
- (4) 先程取り外したネジを外部ステムの穴に通して、六角レンチでしっかりと締め付けます。



2 支柱を机に取り付ける

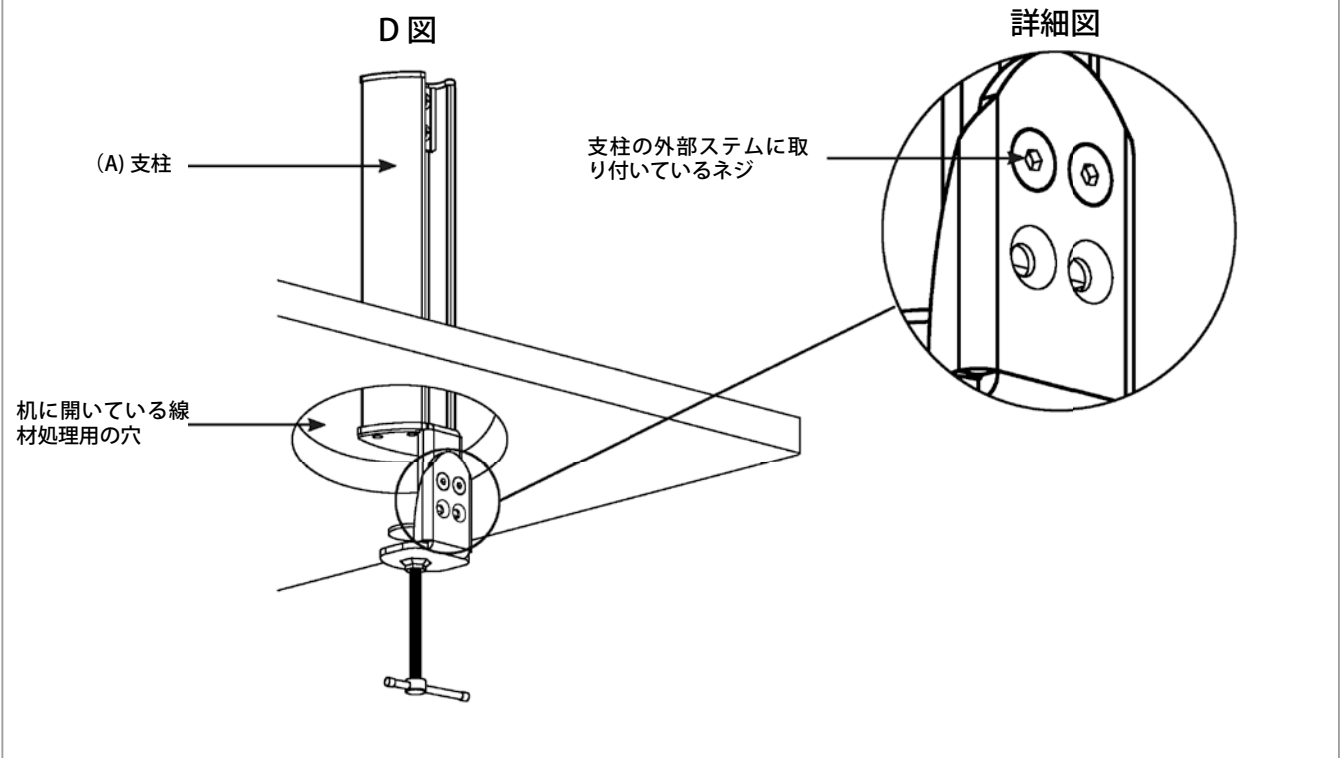
- (1) 支柱(A)をC図のように机の側面の希望する場所に配置します。
- (2) 支柱が机の表面に対して垂直に安定している事を確認して下さい。
- (3) クランプを回して支柱(A)が、ベース部分を机の天板の底面に対して安定するようにしっかりと固定させます。



(3)

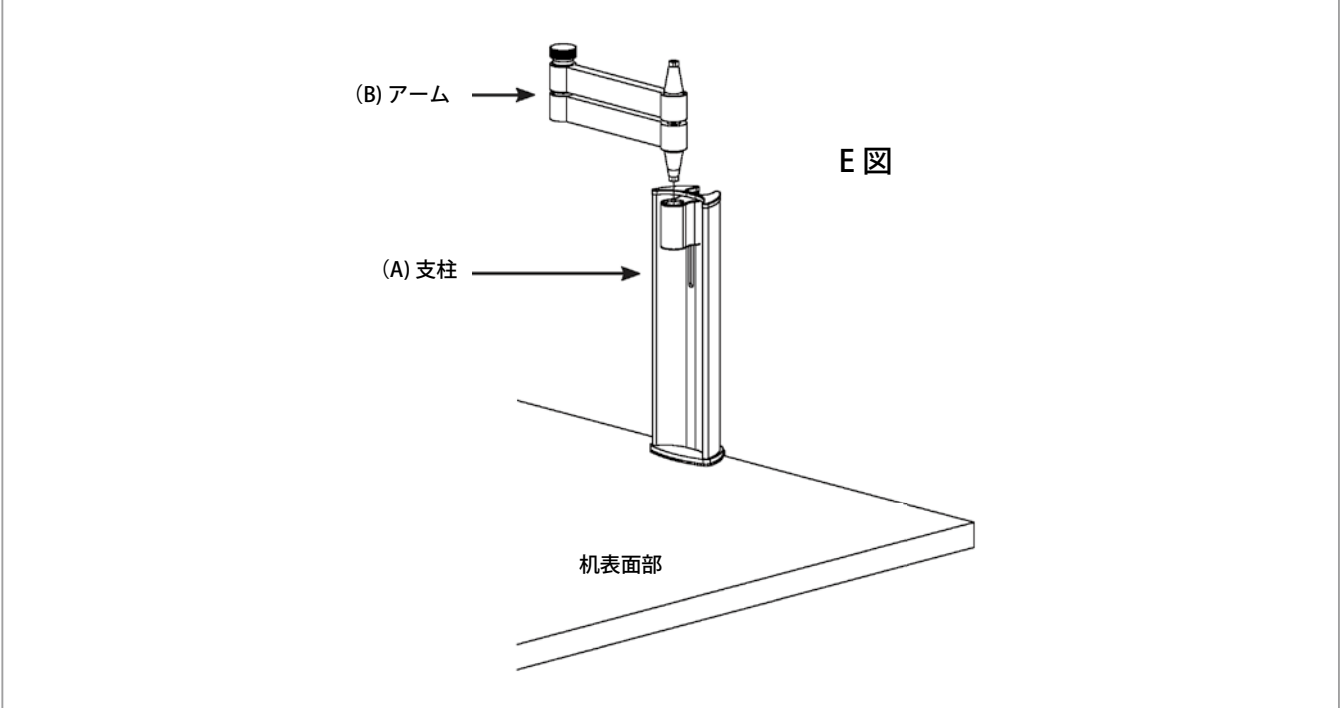
2 支柱を机に取り付ける ----- つづき

- (1) D図のように、机に開いている線材処理用の穴に支柱 (A) を取り付ける場合で、支柱の下部が邪魔をして、机の穴に入らない時は、先ず支柱下部の外部と内部のステムを分離します。
- (2) 外部ステムの2コのネジを六角レンチ (O) で緩めて取り外してから、スライドさせて切り離します。
- (3) 線材処理用の穴を通して支柱を机の天板に平坦に配置します。次に六角レンチを使って外部ステムを2コのネジで取り付けます。
- (4) 最後にクランプを回して支柱 (A) が、ベース部分を机の天板の底面に対して安定するようにしっかりと固定させます。



3 アームを支柱に配置する

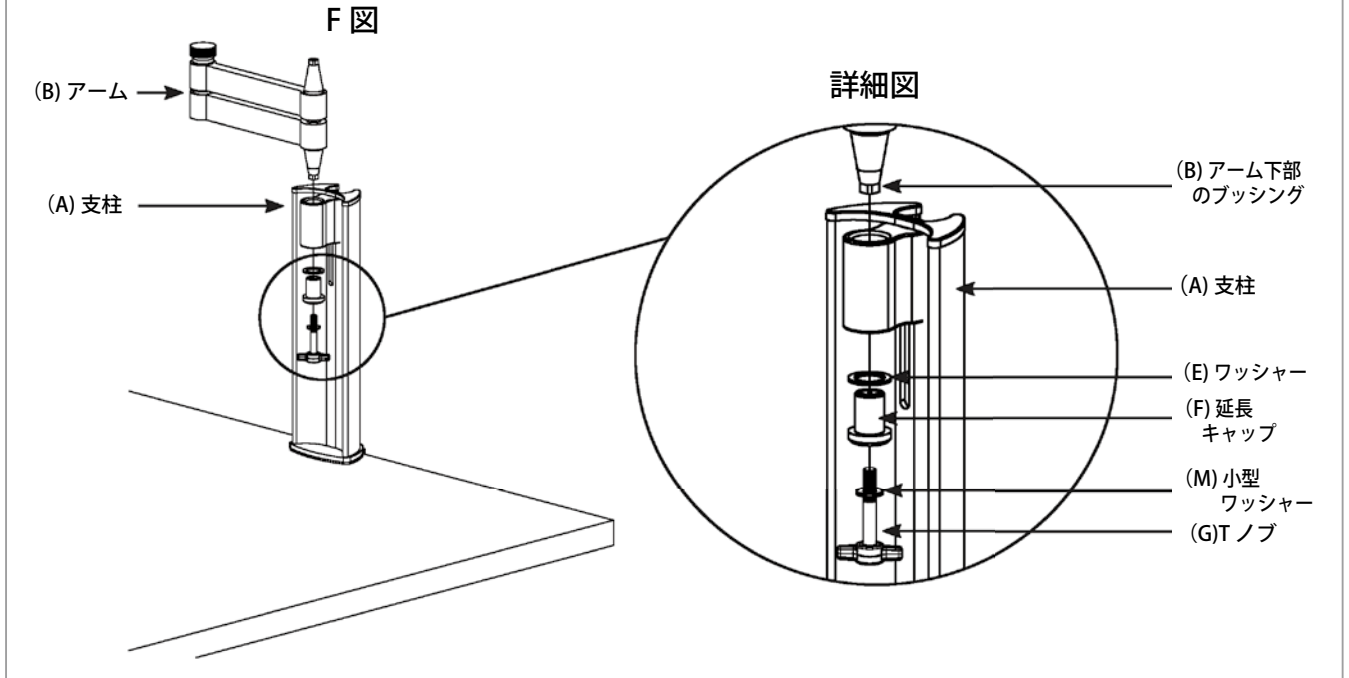
- (1) アーム (B) の円錐形のブッシングを支柱 (A) 上面の開口部にスライドさせる要領で挿入します。



4 アームを支柱に取り付ける

- (1) F図のように、ワッシャー (E) を延長キャップ (F) に嵌め込み、アーム (B) の下部の円錐形の部分に配置します。
- (2) 延長キャップ (F) の四角形の形状がアームのブッシングの末端の四角形のびったりとはまる位置まで回します。
- (3) 詳細図のように、小型ワッシャー (M) にTノブ (G) を通して、延長キャップ (F) に挿入し、しっかりと締め付けます。

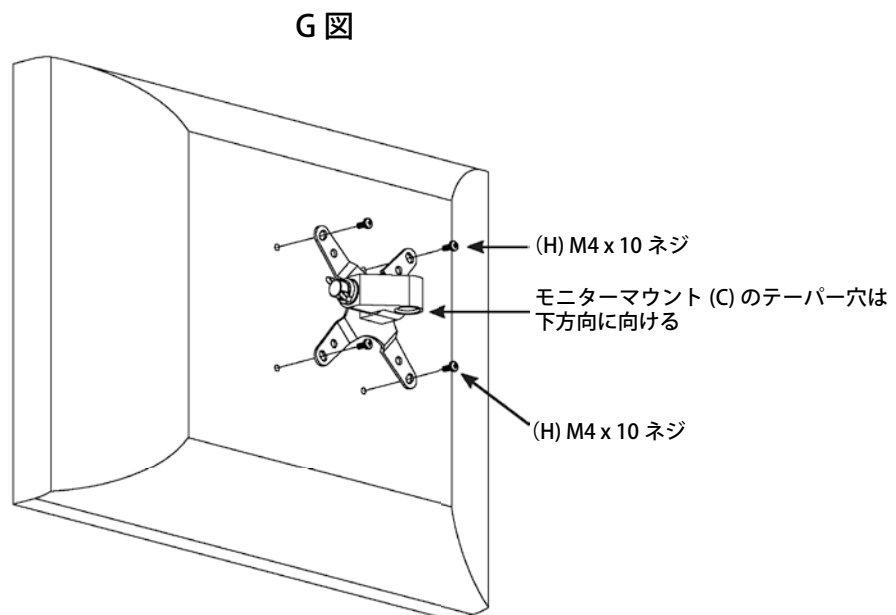
注意 アーム (B) がしっかりと支柱 (A) に取り付いている事を確認して下さい。もし、アームがぐらついているようなら、延長キャップ (F) がアームブッシングの四角形の形状にうまく嵌め込まれずにスリップしているかも知れません。この場合は、一旦Tノブを取り外して、延長キャップが正しい位置に嵌め込まれるようにしてから、再度Tノブを取り付けてしっかりと固定します。



5 背面が平坦な液晶テレビへのモニターマウントの取り付け

液晶テレビの電源を OFF にし、且つ電源コードがコンセントから抜かれている事を確認して下さい。

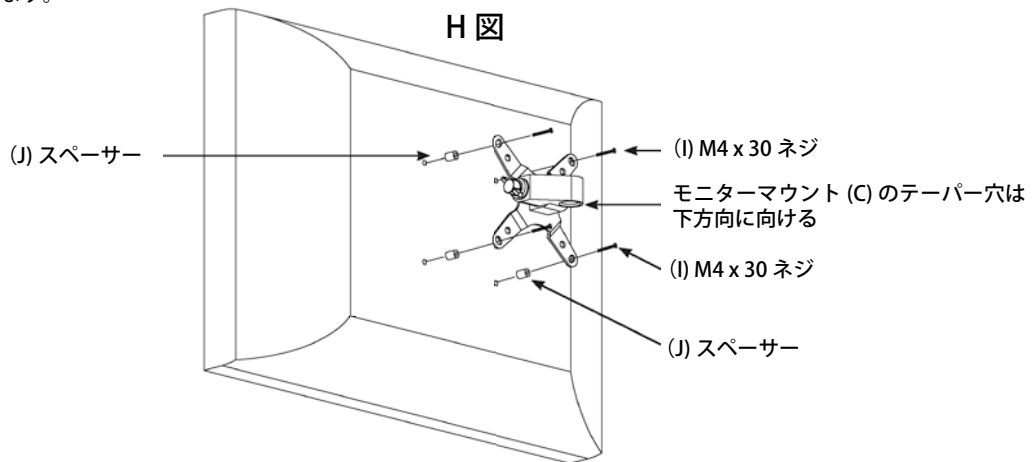
- (1) G図のように、モニターマウント (C) を液晶テレビの背面に、M4 x 10 ネジ (H) を使って取り付けます。この時、モニターマウントのテーパの付いている大きな穴を、液晶テレビの下方方向に向けます。
- (2) モニターマウントのねじ穴を通した 4 コのネジは、液晶テレビ背面の VESA ねじ穴に入れてしっかりとねじ込みます。次は 7 項に進んでください。



6 背面が曲線状、又は取付用ネジ部分にくぼみのある液晶テレビへのマウントの取り付け

液晶テレビの電源を OFF にし、且つ電源コードがコンセントから抜かれている事を確認して下さい。

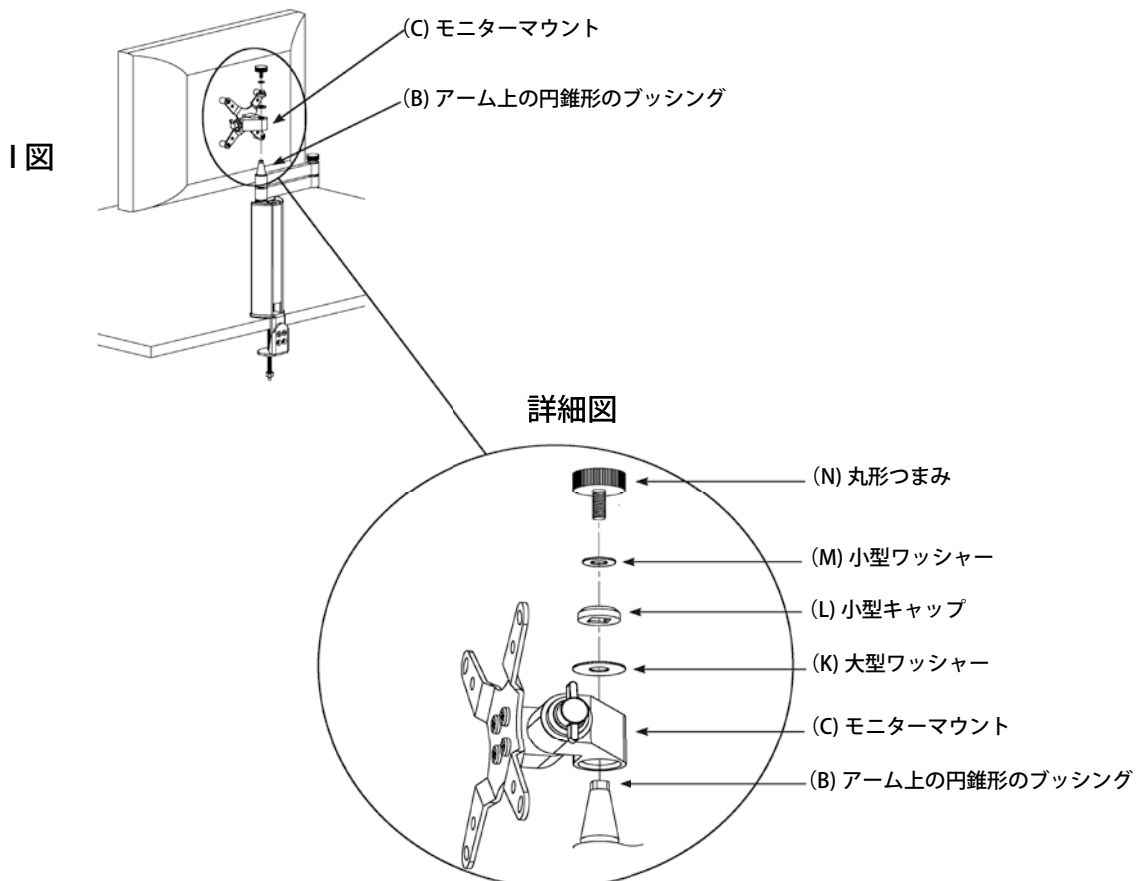
- (1) H 図のように、モニターマウント (C) を液晶テレビの背面に、M4 x 30 ネジ (I) と、スペーサー (J) を使って取り付けます。この時、モニターマウントのテーパの付いている大きな穴を、液晶テレビの下方向に向けます。
- (2) モニターマウントのねじ穴を通した 4 コのネジは、スペーサー (J) を貫通させてから、液晶テレビ背面の VESA ねじ穴に入れてしっかりとねじ込みます。



7 液晶テレビの取り付けしたモニターマウントをアームに取り付ける

注意 解りやすくするために、I 図の詳細図は、液晶テレビを図示していません。又、液晶テレビは二人で持ち上げて下さい。

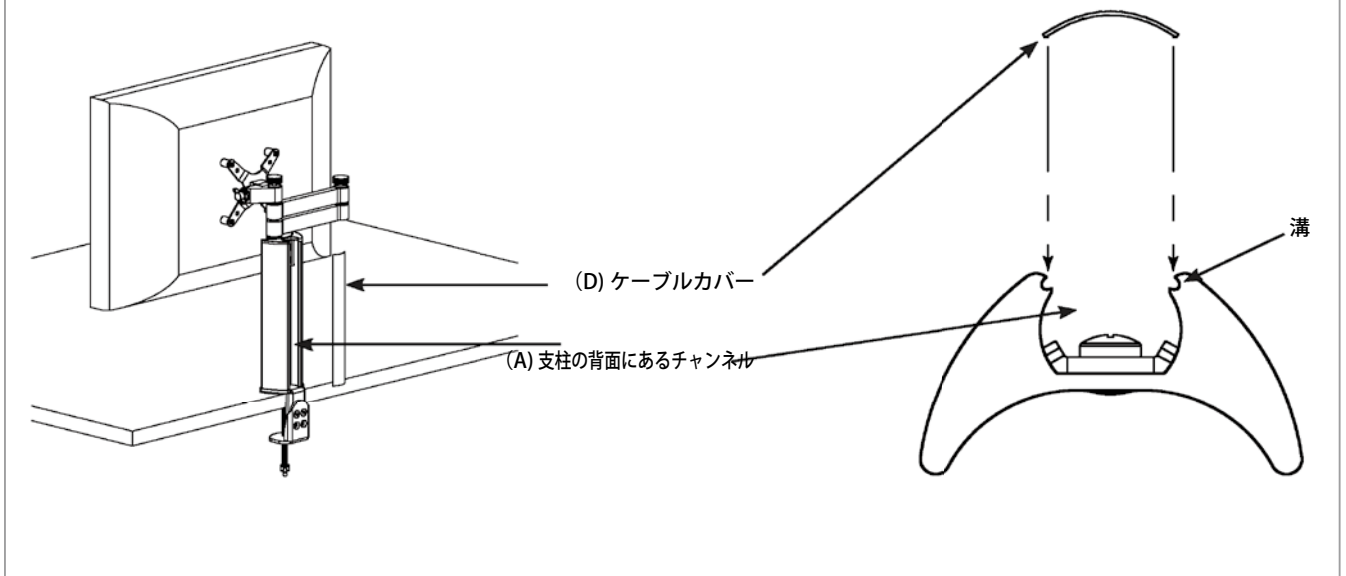
- (1) モニターマウント (C) のテーパの付いている大きな穴を下方向に向けて、支柱 (B) に取り付いているアームの円錐形のブッシングの上に配置します。モニターマウントが I 図や詳細図に示すように、アームにきちっと嵌め込まれていることを確認して下さい。
- (2) 大型ワッシャー (K) を詳細図の位置に配置してから、次に小型キャップ (L) の四角形の形状が、アームの円錐形ブッシング上部の四角形の形状に、ぴたっと合致するように回転させながら取り付けます。
- (3) 最後に、丸形つまみ (N) に小型ワッシャー (M) を通し、小型キャップ (L) の上方から、アームの円錐形のねじ穴にねじ込みます。
- (4) 丸形つまみ (N) や、先に取り付けた T ノブ (G)、更にアーム中央部のつまみ等、のねじ込む度合を加減することにより、希望するテンションで動作するように調整して下さい。



8 ケーブル類の整理

- (1) 電源コードや各種ケーブル類は、支柱 (A) の背面にあるチャンネル部分に収納します。
- (2) J図のように、ケーブルカバー (D) を、支柱のエッジに沿って開いている溝の部分に、ぱちっと嵌め込みます。

J図



9 アームの高さ調整 (オプション工程)

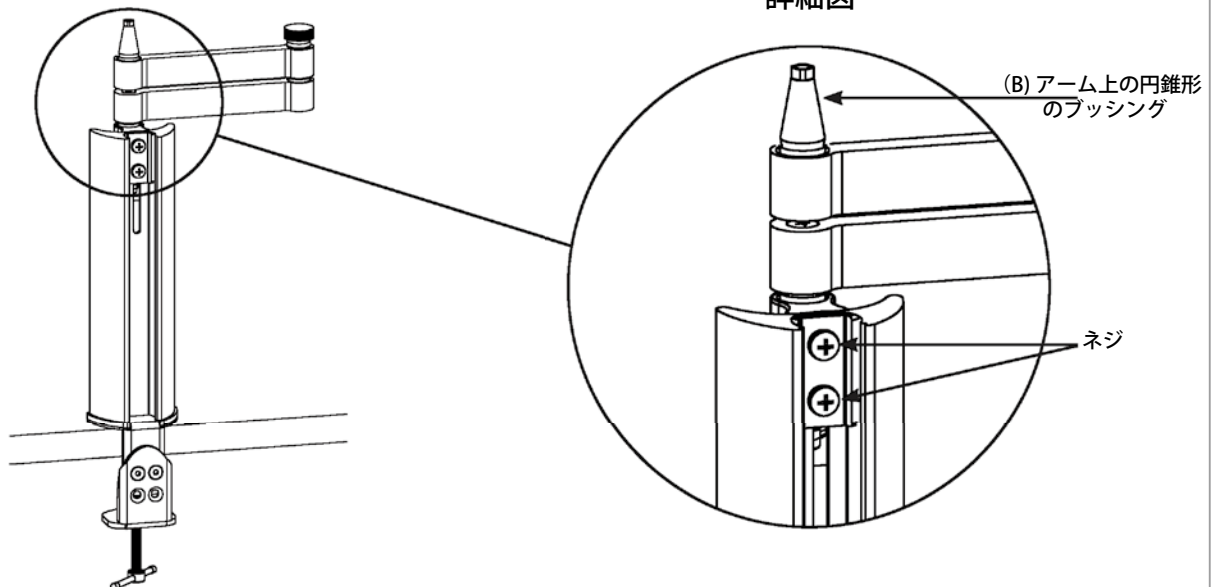


注意 液晶テレビの取り付け状態でのアームの高さ調整はしないで下さい。
取り扱い不備による事故や損傷については、当社では責任を負いません。

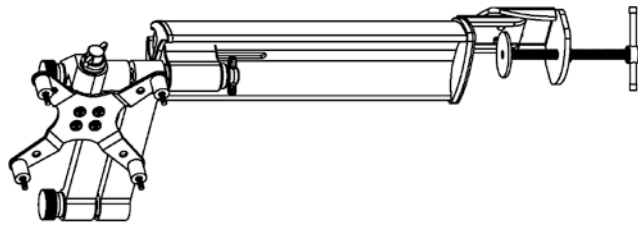
- (1) 支柱 (A) からケーブルカバー (D) を取り外して、チャンネル部分に収納したケーブル類を取り出します。
- (2) 支柱からモニターマウント (C) とそれに取り付いている液晶テレビを、7項のモニターマウントとアームの取り付け方法を参照して、取り外します。
- (3) K図の詳細図に示した、支柱上部の2コのネジをプラスドライバーで取り外します。
- (4) アームを希望する高さとなるように調整してから、2コのネジをしっかりと締め付けます。
- (5) 7項を参照しながら、モニターマウントそれに取り付いた液晶テレビを、元の状態に戻して取り付けます。
- (6) 8項を参照して、ケーブル類とケーブルカバーを、元の状態に戻します。

K図

詳細図

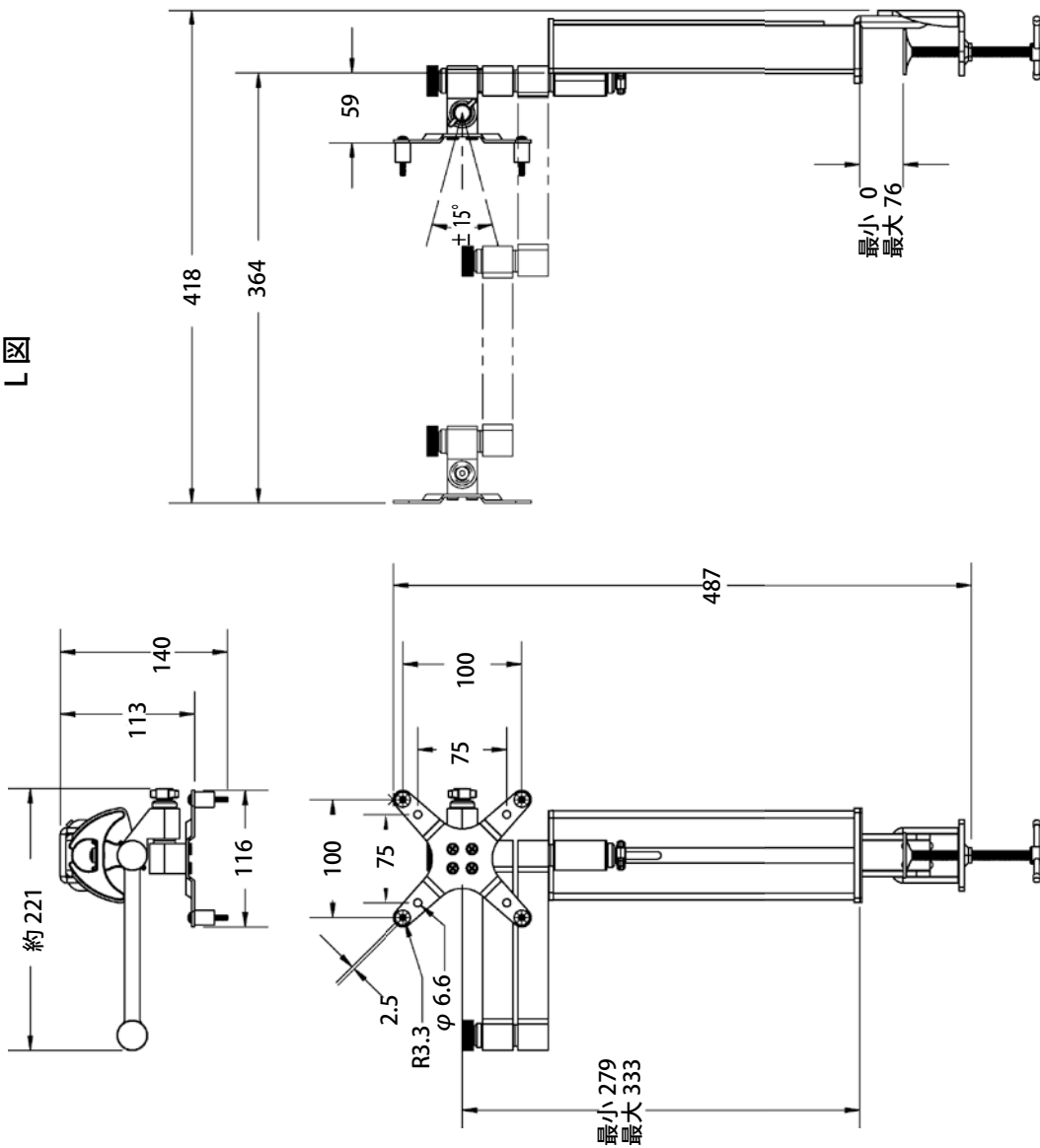


4. SD115 外観図



単位：mm
尺度：任意

L 図



Sanus Systems 輸入総代理店・発売元

NETWORK JAPAN

お問い合わせ・ご購入は、弊社正規販売店又は弊社営業窓口へ
〒559-0012 大阪市住之江区東加賀屋 2-8-12
ネットワークジャパン株式会社 TEL:06-6686-6355 FAX:06-6681-5734

<http://www.network-jpn.com/> E-mail: info@network-jpn.com